

社会科 《第3学年》 年間指導計画・評価計画

担当 (水野直美)

社会科 歴史的分野目標

- (1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。
- (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。
- (4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

【歴史】**閑**は、社会的事象への関心・意欲・態度、**思**は、社会的な思考・判断・表現、**技**は、資料活用の技能、**知**は、社会的事象についての知識・理解

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	評価方法	小学校との関連
4	5部 近代国家の歩みと国際社会 4章 近代国家への歩み 1 新たな外交と国境の画定 2 沖縄・北海道と近代化の波 3 自由と民権を求めて 4 帝国憲法の成果と課題 第5章 帝国主義と日本 1 アジアの列強をめざして 2 挑戦をめぐる対立 日清戦争 3 世界が注目した日露戦争 4 ぬりかえられたアジアの地図 6章 アジアの強国の光と影 1 近代日本を支えた糸と鉄 2 変わる都市と農村① 3 欧米の影響を受けた近代文化	新政府の外交政策及び立憲制の国家の成立したことの意義を理解させる。 条約改正により欧米諸国と対等な外交関係を樹立しようとした人々の努力を理解させ現代政治とのつながりに気付かせる。 日清・日露戦争と大陸との関係を通して日本の国際的地位が向上したことを理解させる。 近代産業の導入・発展を通して資本主義経済の基礎が確立したことを見理解させ、都市や農山漁村の生活の変化に気付かせる。	・岩倉使節団、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを通して、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解させる。 ・我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを通して、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。 ・第一次世界大戦の背景とそ	閑 近代日本の形成過程を国内の動きや世界情勢から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現しているか。 技 近代日本の形成過程に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。 知 近代日本の形成過程を国際情勢を背景に理解し、その知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none">ワークシートノート定期考査 <ul style="list-style-type: none">ワークシートノート定期考査	・ワーキングシート ・ノート ・定期考査 ・条約改正、関税自主権の撤廃（小村寿太郎）

5	<p>6部 二度の世界大戦と日本</p> <p>1章 第一次世界大戦と民族独立の動き</p> <p>1 第一次世界大戦と総力戦</p> <p>2 第一次世界大戦の拡大と日本</p> <p>3 第一次世界大戦後の欧米諸国</p> <p>4 アジアの民族自決と国際協調</p> <p>2章 高まるデモクラシーの意識</p> <p>1 護憲運動と政党内閣の成立</p> <p>2 社会運動の高まりと普通選挙の実現</p> <p>3 都市が生み出した大衆文化</p>	<p>ヨーロッパ諸国間の対立や民族問題を背景として第一次世界大戦が起こったことを理解させ、世界情勢や日本に大きく影響したこと気に付かせる。</p>	<p>の影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを通して、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。</p>	<p>思</p>	<p>第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などについて多面的・多角的に考察し、その結果や過程を適切に表現している。</p> <p>第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解し、その知識を身に付けている。</p>	<p>知</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート ノート 定期考査 <ul style="list-style-type: none"> ワークシート ノート 定期考査 	
6	<p>3章 軍国主義と日本の行方</p> <p>1 世界恐慌と行きづまる日本</p> <p>2 欧米諸国が選択した道</p> <p>3 強まる軍部とおとろえる政党</p> <p>4 戦争につき進む日本</p> <p>4章 アジアと太平洋に広がる戦線</p> <p>1 第二次世界大戦への道</p> <p>2 太平洋戦争と植民地支配の変化</p> <p>3 戦局の悪化と戦時下の暮らし</p> <p>4 ポツダム宣言と日本の敗戦</p>	<p>世界恐慌と我が国の経済の混乱と社会不安の関連を理解させ、国際協調体制に大きく影響を及ぼしたことを気付かせる。</p> <p>政党政治の行き詰まりから軍部の台頭、中国との戦争へと広がっていった経緯を理解させる。</p> <p>アジアから太平洋に戦争が拡大し、わが国がアジア諸国の人々に多大な損害を与えたこと、わが国の国民も大きな戦禍を受けたことなどから世界大戦が人類全体に参加を及ぼしたことを理解させ、国際協調と国際平和の実現の大切さを学び合う。</p>	<p>経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などに関する様々な適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>思</p>	<p>経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などに関する様々な適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>知</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート ノート 定期考査 <ul style="list-style-type: none"> ワークシート ノート 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 長く続いた戦争と人々の暮らし 世界文化遺産の原爆ドーム 満州事変、日中戦争、日本の戦争の広がり 戦争中の生活の様子 東京大空襲、沖縄戦 原爆投下と戦争の終わり

			<p>知 軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類に惨禍を及ぼしたことを探し、その知識を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート ノート 定期考査 	
6	<p>7部 現在に続く日本と世界</p> <p>1章 敗戦から立ち直る日本</p> <p>1 新時代に求められた憲法</p> <p>2 国際連合と冷たい戦争</p> <p>3 日本の独立と安全保障</p> <p>2章 経済大国 日本</p> <p>1 経済成長の光と影</p> <p>2 東アジアとの新たな関係</p> <p>3 経済大国となった日本</p> <p>4 文化の大衆化・多様化</p> <p>3章 これからの日本と世界</p> <p>1 グローバル化が進む社会</p> <p>2 今の自分にたちかえって</p> <p>時代コラム</p>	<p>戦後の民主的諸改革がすすめられ現代の日本の骨組みが形成されたことに気付かせる。</p> <p>国際連合の成立、冷戦、平和共存の動きなどを我が国の動きと関連させながら理解させる。</p> <p>わが国の産業・経済、科学技術の発展とそれに伴う国民生活の向上について理解させる。</p> <p>沖縄返還、日中国交正常化など、東アジアとの新たな関係や当時の国際情勢について理解させる。</p> <p>冷戦終了後の国際協調の平和外交や発展途上国への援助などに注目させて、国際社会におけるわが国の役割を理解させ、公民分野の学習に向けた課題意識をもたせる。</p>	<p>・冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを通して、第二次世界大戦後の諸改革の特色を考えさせ、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。</p> <p>・高度経済成長、国際社会とのかかわり、冷戦の終結などを通して、我が国の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。</p>	<p>関 現代の歴史に関し、身近な人々の体験や地域の歴史に関連付けながら関心を高め、意欲的に追究し、国際協調の大切さを考えようとする。</p> <p>思 現代の歴史的事象から課題を見いだし多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>因 現代に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりする。</p> <p>知 現代の特色などを世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ワークシート ノート 定期考査 ワークシート ノート 定期考査 ワークシート ノート 定期考査 ワークシート ノート 定期考査 <p>(10) 新しい日本、平和な日本へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後の改革、日本国憲法の制定 ・世界の動きや日本の様子 ・東京オリンピックの開催の様子や国民生活の変化 ・現在の日本が抱える課題や果たすべき役割

社会科 公民的分野の目標

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。
- (2) 民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活について、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深め、現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。
- (3) 國際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各國が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自國を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。
- (4) 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

【公民】 関は、社会的事象への関心・意欲・態度、思は、社会的な思考・判断・表現、技は、資料活用の技能、知は、社会的事象についての知識・理解

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	評価方法	小学校との関連	
7	第1部 私たちと現代社会 1章 私たちの現代社会の特色 <5> 1大きく変化した私たちの生活 2私たちの現代社会を見てみよう 3少子高齢化が進む現代 4情報化が進む現代 5グローバル化が進む現代	現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがみられるなどを理解させるとともに、それらが我が国の政治、経済、国際関係に影響を与えていていることに気付かせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長による生活の変化に気づく ・現代社会を「持続可能な」社会」という視点をもって考察する ・少子高齢社会について考察する ・情報社会化がもたらす影響を考察する ・グローバル化による生活の変化を考察する。 ・ 	関 思 技 知	<p>少子高齢化、情報化、グローバル化などの現代社会の特色に対する関心が高まっている。少子高齢化、情報化、グローバル化などが政治、経済、国際関係に影響を与えていてことについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>収集した資料の中から、少子高齢化、情報化、グローバル化などの学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがあることを理解し、その知識を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ノート ・ワークシート ・ワークシート ・定期考查 	わたしたちのまちのようす（3年） 区の人々のようす（3年） 情報化した社会とわたしたち（5年） 世界の中の日本（6年）
7	2章 私たちの生活と文化<3> 1私たちの生活と文化（1）㊂ 2私たちの生活と文化（2） 3伝統文化に根ざす現代㊂	現代社会における文化の意義や影響を理解させるとともに、我が国の伝統と文化に関心をもたせ、文化の継承と創造の意義に気付かせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術のよい面、悪い面があることを理解する。 ・宗教と生活、文化とのかかわりを考察する ・日本の伝統文化について理解する。 	関 思 技 知	<p>我が国の伝統と文化が自然や社会との関わりの中でどのように受け継がれてきたのかについて意欲的に追究している。</p> <p>我が国の伝統と文化の意義や、現代社会に与えている影響などについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>現代社会における文化の意義や影響、我が国の伝統と文化に関する資料を収集し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>文化が現代社会を規定する大きな要因の一つであることを理解し、その知識を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート ・ワークシート ・ワークシート ・定期考查 	カわってきた人々の暮らし（3年） 郷土の発展につくす（4年） わたしたちの東京都（4年） わたしたちの生活と食料生産（5年）

7	<p>3章 現代社会の見方・考え方<4></p> <p>1変わりゆく家族 2私たちが地域社会できること 3よりよい社会をめざして</p>	<p>社会生活における物事の決定の仕方、決まりの意義について考えさせ、現代社会を捉える見方や考え方の基礎として、「対立と合意」、「効率と公正」などについて理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族形態の変化と多様なあり方について理解する。 ・地域社会の役割について話し合う ・身近な対立の事例をとりあげ、問題解決に向けて、話し合い、どのように合意すればよいか学ぶ ・「効率」「公正」の概念を理解する 	<p>関 恩 因 知</p>	<p>社会生活における物事の決定の仕方、決まりの意義に対する関心を高め、それらを意欲的に追究している。</p> <p>社会生活における物事の決定の仕方、決まりの意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>社会生活における物事の決定の仕方、決まりの意義に関する様々な資料を収集し読み取ったり、図表などにまとめたりしている。</p> <p>現代社会を捉える見方や考え方の基礎としての対立と合意、効率と公正などについて理解し、その知識を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート ・定期考査 ・ワークシート ・ノート ・定期考査 	
9	<p>第2部 私たちの暮らしと民主政治</p> <p>1章 民主主義について考えよう<2></p> <p>1民主主義と私たち 2民主主義と人権の歩み</p>	<p>民主政治のしくみのあらましを理解させ、議会制民主主義の意義について考えさせるとともに、多数決の原理とその運用のあり方について理解を深めさせる。</p> <p>人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心とし、法の意義を理解させる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民主主義の原則を理解する ・民主主義や人権を実現してきた歩みを理解する 	<p>関 恩 因 知</p>	<p>人間の尊重、法の意義及び法に基づく政治の大切さについて意欲的に追究し、民主的な社会生活について考えようとしている。</p> <p>基本的人権の尊重を中心とした人間の尊重についての考え方と、日本国憲法をはじめとした法との関連から課題を見いだし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>人間の尊重、法の意義及び法に基づく政治の大切さに関する資料を様々な情報手段を活用して収集し、情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>人間の尊重の考え方、民主政治の原理、基本的人権の理念は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であり価値あるものであることを理解し、その知識を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ノート ・ワークシート ・定期考査 ・ワークシート ・定期考査 ・ワークシート ・定期考査 	わたしたちの生活と政治（6年）

9	<p>2章 日本国憲法について考え方 <11></p> <p>1日本国憲法とは 2国民主権と政治参加 3平和主義の選択 4基本的人権と私たち 5平等権について考え方 6現代社会に残る差別（1） 7現代社会に残る差別（2） 8自由権について考え方 9社会権について考え方 10広がる人権の考え方 11人権を守るために</p>	<p>民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解させ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考え方させる。また、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについての理解を深めさせ、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法は国の基本法であること、三大原則を理解する。 ・、国民主権の意義を理解する ・平和主義がどのように定められているか調べる ・基本的人権がどのように保障されているか理解する ・現代社会に残る差別について事例を考察し、どうしたら差別をなくせるか考える ・新しい人権について考察する ・人権が対立した場合の解決方法を考える 	関 恩 技 知	<p>基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方と、日本国憲法をはじめとした法に対する関心が高まっている。</p> <p>日本国憲法に基づく政治により、国民の自由と権利が守られ民主政治が行われるということについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>法に関する資料を様々な情報手段を活用して収集し、情報を適切に選択して、読み取つたり図表などにまとめたりしている。</p> <p>日本国憲法が最高法規であり、基本的人権の理念、国民主権の意味、平和主義への決意、天皇が日本国及び日本国民統合の象徴であることを理解し、その知識を身に付けていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ノート ・ワークシート ・定期考査 ・ワークシート ・定期考査 ・ ・ワークシート ・定期考査 ・ ・ワークシート ・定期考査 	
10	<p>3章 住民として地方の政治を考えよう <5></p> <p>1地方自治と民主政治 2地方公共団体の仕事としきみ 3地方財政の現状と課題 4地方自治の変化と私たち</p>	<p>地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治のしきみについて理解するとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活と地方自治の関わりについて考察する ・地方の政治のしきみについて理解する ・地方財政の課題について考察する 	関 恩 技 知	<p>地方公共団体における政治への関心を高め、自らが自らを治めるという民主政治の基本的な考え方について意欲的に追究している。</p> <p>民主的な政治と政治参加にかかわる課題を見いだし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>地方公共団体の政治のしきみに関する資料を収集し、情報を適切に選択して、読み取つたり図表などにまとめたりしている。</p> <p>地方自治は、住民参加による住民自治が基本であること、地方公共団体の政治は、首長と議会の二つの機関を中心に行われていることを理解し、その知識を身に付けていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ノート ・ワークシート ・定期考査 ・ワークシート ・定期考査 ・定期考査 	<p>住みよい暮らし（4年）</p>

10	<p>4章 国民として国の政治を考えよう <13></p> <p>1国民の願いを実現するために 2世論とマスメディア 3政党の意味と役割 4選挙と選挙をめぐる問題点 5国会の仕事としきみ 6国会の現状と課題 7内閣の役割としきみ 8行政の役割と課題 9私たちの生活と裁判 10人権を守る裁判 11三権の分立 12政治参加のあり方</p>	<p>国会を中心とする我が国の政治のしくみや政党の役割について理解を深めさせる。さらに、国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させるとともに、民主政治の推進と公正な世論の形成や国民の政治参加との関連について考えさせる。その際、選挙の意義について考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国会が果たす役割について国民主権の視点から考察する ・マスメディア・・政党の役割について考察する ・選挙制度の特色と制度の問題点について考察する ・議院内閣制の仕組みについて理解する ・行政の役割、課題について考察する ・裁判の仕組み、役割について理解する ・三権の抑制と均衡について整理する ・政治参加の大切さを理解する ・模擬裁判を通して、裁判のしくみを学び合う 	<p>関 思 技 知</p> <p>国における現実の政治に対する関心を高め、将来国政に参加する公民として、民主的な政治と政治参加の方法について考えようとしている。 議会制民主主義や選挙の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 国の政治のしくみに関する資料を収集し、情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 国会は、国民の代表者で構成され、また国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関であること、内閣は、我が国が議院内閣制を採用していること、政党や多数決の意味、司法権の独立と法による裁判が憲法で保障されていることを理解し、その知識を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ノート ・ワークシート ・定期考査 ・ワークシート ・定期考査 ・ワークシート ・定期考査 ・テスト 	<p>私たちの生活と政治（6年）</p>
11	<p>第3部 私たちの暮らしと経済</p> <p>1章 私たちの生活と経済について考えよう<3></p> <p>1経済活動とお金の役割 2限りある資源をどう使う? 3価格のはたらきと経済</p>	<p>身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の動きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動における貨幣の役割について考察する ・限りあるものをどのように使うことで経済活動を行っているか理解する ・価格の動き価格の決め方にについて理解する ・ 	<p>関 思 技 知</p> <p>経済活動の意義について関心が高まっている。 経済活動の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 経済活動の意義についての学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 経済活動の意義が人間の生活の維持・向上にあり、経済は生活のための手段にほかならないこと、市場経済においては、価格には人的・物的資源を効率よく配分する働きがあることを理解し、その知識を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ノート ・ワークシート ・定期考査 ・定期考査 	<p>私たちの生活と工業生産（5年）</p>
	<p>2章 消費者として経済を考えよう<4></p> <p>1自分の家の家計を考えよう 2買い物の方法はいろいろ 3消費者を支える政府の取り組み 4環境に配慮した消費生活</p>	<p>消費者の立場から経済活動の意義を理解させるとともに、消費者の保護など消費者をめぐる問題について、政府の取り組みなどを理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家計における収入と支出の関係を考察する ・いろいろな支払い方法を知り、クレジットカードの利便性と危険性を理解する ・消費者の権利、消費者政策の役割を理解する 	<p>関 思 技 知</p> <p>今日の経済活動に関する諸問題に着目し、個人の経済活動について考えようとしている。 消費者の経済活動について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 個人の消費生活に関する資料を収集し、情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 国や地方公共団体は消費者の権利の尊重及びその自立の支援のために消費者政策を推進する役割を担っていることを理解し、その知識を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ノート ・ワークシート ・定期考査 ・定期考査 ・定期考査 	

11	<p>3章 企業を通して経済を考えよう <13></p> <p>1私たちと企業 2企業の活動目的と種類 3株式会社のしくみ 4企業競争の役割 5流通の役割 6金融のしくみとはたらき 7日本銀行の役割と金融の課題 8景気変動のしくみ 9グローバル化とこれからの日本経済 10働きやすい職場をつくるために 11労働をめぐる問題 12企業の社会的責任</p>	<p>現代の生産や金融などのしくみや働きを理解させるとともに、社会における企業の役割と責任について考えさせる。その際、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神と関連付けて考え、学び合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が暮らしに必要なモノ、サービスを生産していることを理解する ・企業の目的を理解する ・株式会社のしくみを理解する ・企業競争のメリット、健全な競争を維持するための正負の役割を理解する ・流通の仕組み、市場経済における分業と交換について考察する ・金融機関の仕組み、機能について理解する ・経済変動が生活にお世帯影響を理解する ・経済のグローバル化の影響と対応について考察する ・労働者を守る権利や労働組合について理解する ・労働をめぐる問題について考察し、働く意義を見いだす ・企業の社会的責任について理解する・ 	<p>閲</p> <p>企業が暮らしに必要なモノ、サービスを生産していることを理解する</p> <p>思</p> <p>社会における企業の役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、企業の経済活動にかかわる様々な事象から課題を見いだし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>技</p> <p>企業の生産活動、金融などに関する資料を様々な情報手段を活用して収集し、収集した資料の中から、現代の生産や金融などについての学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。市場経済においては、企業は価格を考慮しつつ、何をどれだけ生産するか選択していること、人々が求める財やサービスを作り出す生産が、企業を中心に行われていること、金融には、家計の貯蓄などを企業の生産活動や人々の生活の資金などとして円滑に循環させる働きがあること、企業は、市場において生産活動以外に社会的に貢献していることを理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>知</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ノート ・ワークシート ・ワークシート ・定期考査 ・ワークシート ・定期考査 ・定期考査 	
12	<p>4章 納税者として経済を考えよう <5></p> <p>1私たちの生活と財政 2国の支出と収入 3社会保障と私たちの生活 4社会資本の役割と環境への取り組み 5納税者として国の財政を考えよう</p>	<p>国民の生活と福祉の向上を図るために、市場のはたらきにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割について考えさせる。財政の役割、租税の意義について考えさせ、国民の納税の義務について理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事例から政府が行う経済活動について考察する ・国の歳入、歳出について考察する ・社会保障の意義、しくみ、課題について考察する ・身近かな事例から公共事業による社会資本の整備について考察する ・歳出における重点項目を考え、自分なりに国の予算を作成する 	<p>閲</p> <p>国や地方公共団体の経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、経済活動について考えようとしている。</p> <p>思</p> <p>国や地方公共団体の経済活動に関わる様々な事象から課題を見いだし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>技</p> <p>国や地方公共団体の経済活動に関する様々な資料を収集し、情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。社会資本、公害の防止、社会保障の充実、消費者の保護、租税の意義及び国民の納税の義務について理解し、その知識を身に付けていく。</p> <p>知</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ノート ・ワークシート ・定期考査 ・ワークシート ・定期考査 ・定期考査 	<p>安全なくらし（4年） 住みよい暮らし（4年） わたしたちの生活と環境（5年）</p>

12	第4部 私たちの暮らしと国際関係 1章 世界平和の実現をめざして <8> 1国家と国際社会 2今なお解決しない紛争 3軍縮の動きと新たな問題 4戦争の被害と人権 5国連のはたらきとそのしくみ 6地域・機関の役割と発展 7国際社会における日本の役割 8国際社会のよりよい発展	世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国家間の相互の主権の尊重と協力、国際機構などの役割の大切さを認識させる。その際、日本国憲法の平和主義について理解を深め、我が国の安全と防衛及び国際貢献、核兵器などの脅威に着目させ、戦争を防止し、世界平和を確立するための熱意と協力の態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・国と国との関係や国際社会のルールを理解する ・国際紛争に目を向けるとともに戦争の原因を考え平和的解決の方法を探る ・軍縮の経緯を考察するとともに新たな問題を知り、外交の重要性を考える ・戦争犠牲者に目を向け、国際的な人権保障の動きを理解する ・国連の仕組みと活動の状況を理解し課題を考える ・地域貴校の目的や活動を知り、役割を考える ・国際平和を進展させるために日本が行っている活動を知る。 	関 思	<p>国際社会の活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、世界平和の実現と人類の福祉の増大について考えようとしている。</p> <p>国際社会及び我が国の果たす役割について、国際社会の活動に関わる様々な事象から課題を見いだし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>国際社会の活動に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取り図表などにまとめたりしている。</p> <p>国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際機構などの役割の大切さについて認識し、日本国憲法の平和主義について理解を深めるとともに、国際社会における課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることについて理解し、その知識を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ノート ・ワークシート ・定期考査 ・ワークシート ・定期考査 ・定期考査 	わたしたちの国土（5年） 世界の中の日本（6年）
1	2章 私たちの地球をみつめて <4> 1地球規模で広がる環境問題 2地球温暖化とその国際的な対応 3南北問題と環境問題 4地球と共に生きるために	地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解させる。「中学校での卒業論文」を書くという気持ちでレポート作成にのぞませる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地球規模の環境問題を解決するに国際的な協力や取り決めの必要性について考える ・地球温暖化に対する国際的な取り組みについて理解する ・環境保全への対応について先進国と発展途上国の立場の違いを理解し、課題について考察する 	関 思	<p>地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題に関心を高め、意欲的に追究している。</p> <p>地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題について、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題についての資料を収集し情報を適切に選択して読み取り図表などにまとめたりしている。</p> <p>地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題に対する経済的、技術的な協力など大切さを理解し、その知識を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ノート ・レポート ・レポート ・レポート ・レポート 	わたしたちの生活と環境（5年）

2-3	<p>第5部 よりよい社会をめざして</p> <p>1章 持続可能な社会をめざして<8></p> <p>「持続可能な社会をめざして」をテーマにしたレポートの作成</p>	<p>持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究させ、自分の考えをまとめさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「持続可能な社会」実現に向けた課題を設定する ・課題探求の計画を立てる ・調査しレポートにまとめる 	<p>閲 恩 技 知</p>	<p>持続可能な社会に対する関心を高め、それを形成するために解決すべき課題を意欲的に探究し、自分の考えをまとめようとしている。</p> <p>持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を見いだし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、判断して、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>持続可能な社会を形成するために解決すべき課題に関する資料を収集し情報を適切に選択して読み取り図表などにまとめたりしている。</p> <p>持続可能な社会を形成するために解決すべき課題及びその課題を探究するための方法について理解し、その知識を身に付けていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・計画書 ・レポート ・レポート ・レポート 	
-----	---	--	--	----------------------------	--	--	--